

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	総合政策部
	17094	ホームページ情報発信事業	課名	政策課 広報秘書G
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財務	会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進	科目	01:一般会計
	施策の方向	01:市民参画・協働の推進	項目	02:総務管理費
戦略プロジェクト	-	目	02:広報活動費	
事業予定期間	H 19 ~ R	年度	主な根拠法令要綱等	

目的・概要	対象	市民及び市外の人
	目的	市内外の人々が、市の施策や魅力をどこでも必要な時に習得できるよう、ホームページにより情報を発信する。また、より身近で情報を取得しやすい環境を整え、市民参画や協働を促進するため、フェイスブック等のSNSツールを利用するなど、ICTを活用したコミュニケーション機能の充実を図る。
概要		市ホームページにより、タイムリーで安定的な市政情報の発信を行うとともに、他の広報媒体と連動した全庁的な情報発信力の強化を図るため、ウェブアクセシビリティやSNS等に関する職員研修を継続する。また、より効果的かつ効率的なホームページ運用のため、現行のシステムを見直し、シティプロモーション専用サイトとの統合やサーバのクラウド化を含めた研究・検討を行い、システムの更新を行う。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	ホームページの運用 ・サーバの賃借 ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 ・システム更新に関する研究・検討 CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(年1回)	ホームページの運用 ・サーバの賃借・利用 ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 ホームページ更新準備 ・ホームページ構成検討 ・ページ作成 CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(年1回)	ホームページの運用 ・サーバの使用 ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(年1回)	
	年度実績	ホームページの運用 ・情報発信件数 1,854件 ・フェイスブック掲載件数 127件 ・賃借契約によるハード・ソフトウェアの保守 ・システム更新に関する内容・経費に関する情報収集・検討 CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(3月)			
事業の計画・実績	計画額	事業費	6,700千円	10,500千円	4,300千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	520千円	500千円	500千円
	一般財源	6,180千円	10,000千円	3,800千円	
	予算額	事業費	6,684千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	520千円		
	一般財源	6,164千円	0千円	0千円	
	決算額	事業費	6,584千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
地方債					
その他		453千円			
一般財源	6,131千円	0千円	0千円		
人件費	総人件費	3,925千円	0千円	0千円	
	一般職員	3,925千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.50			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		10,509千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	ホームページ年間更新件数	計画値	1,500	1,600	1,700
		ホームページ(新規・既存)の年間更新件数	実績値	1,854		
			単位	件	件	件
	名称	ホームページ年間閲覧件数	計画値	610,000	620,000	630,000
		ホームページの年間閲覧件数	実績値	693,453		
			単位	件	件	件
	名称	SNSでの年間情報発信件数	計画値	170	180	190
		フェイスブックでの年間情報発信件数	実績値	127		
			単位	件	件	件

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 ホームページでの情報発信方法やウェブアクセシビリティについて、引き続き職員研修等を実施し、分かりやすく魅力的なページの更新を促す。ページや情報の「見つけやすさ」については、ホームページのシステム更新時に、カテゴリーや階層等も併せて検討を行う。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 職員向け広報研修を実施し、閲覧件数の高い記事やウェブアクセシビリティに関する動画を紹介し、魅力的で伝わるホームページ・フェイスブックの作成・更新を促した。ページや情報の「見つけやすさ」については、令和2年度のホームページ更新作業の中で、カテゴリーや階層の見直し等を具体的に行うこととした。一方、システム更新については、シティプロモーション専用サイトとの統合、サーバのクラウド化、CMSのバージョンアップなどの方向性を検討した。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 CMSにより1,854件の情報をタイムリーに発信したほか、フェイスブックに127件の記事を投稿した。また、各課の担当職員を対象に広報研修を開催し、魅力的で伝わる情報発信の仕方を紹介した。一方、システム更新については、シティプロモーション専用サイトとの統合、サーバのクラウド化、CMSのバージョンアップなどの方向性を検討した。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 タイムリーで安定的な情報発信により、閲覧数が計画値を上回った。フェイスブックについては、市民参画を促す記事の掲載により、フォロワー数(788人)、いいねを押している人の数(761人)、シェア件数(149件)と順調に増えており、コミュニケーションの充実に繋がった。	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 年明けから新型コロナウイルス感染症の影響による催しの減少等により、フェイスブックの投稿数が減少した。市民参画・協働を推進するべく、情報の種類を広げるなど、積極的に情報を発信する必要がある。また、ホームページアンケートにおいて、「見つけやすさ」は前年度と比べると向上(59.1%、3.7ポイント増)したものの、前々年度の数値(64.1%)には届かず、まだ改善の必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 フェイスブックについては、他市の投稿例も参考に、催し以外の情報を積極的に発信するよう各課に促す。また、情報の「見つけやすさ」については、ホームページ更新作業時にカテゴリーや階層等の見直しを行うことで改善を図る。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 ホームページの閲覧者が必要な情報に容易にアクセスでき、タイムリーで魅力的な情報を得られることで、市政に関する理解や関心が高まるほか、市民や団体等様々な主体による交流が活性化される。	
対応時期		令和2年度～	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 広報秘書グループリーダー 松岡 保範
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B		
	成果	B	B	B		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		6,684 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	6,684 千円
	令和2年度への繰越額	千円